

新成人を祝う会

1月13日(日)扶桑文化会館で“新成人を祝う会”が行われました。今年プロ野球解説者の与田剛さんの講演があり、新成人の方も与田さんのお話に熱心に耳を傾けていました。



Zoom



恩師からお祝いの言葉



講演する与田さん



江戸町長あいさつ

消防出初め式

1月6日(日)丹羽広域事務組合主催“消防出初め式”が行われました。



一斉放水



分列行進



守口大根収穫

今年も扶桑町の特産である“守口大根”の収穫が行われました。



守口大根収穫体験



塩漬け



仕上げ漬け

斎藤地区防犯パトロール隊が発足しました

斎藤6地区が、それぞれ防犯パトロール隊を立ち上げ、1月13日(日)斎藤学習等供用施設において斎藤地区防犯パトロール隊発足式が行われました。



留学生訪問

12月21日に丹羽ライオンズクラブが受け入れをしているマレーシアからの留学生が扶桑町を訪問しました。

さくらの木記念植樹式

1月25日(金)高雄公園で愛知さくらライオンズクラブ(会長 酒井喜代子さん)から寄贈された“さくらの木”(ソメイヨシノ)の記念植樹式が行われました。



江戸町長あいさつ



植樹をする酒井会長(左)



記念植樹に参加された皆さん

丹羽消防署

春の火災予防運動が始まります。

3月1日(土)から7日(金)までの1週間は、春の全国火災予防運動週間です。

丹羽消防署では、「火は見てる あなたが離れる その時を」を統一標語とし、防火の意識の高揚を目的として次のようなことを行います。

◆火災予防運動週間中の行事

- ① サイレンの吹鳴(午後9時)
- ② 自衛消防隊の訓練指導
- ③ 事業所、町内会等における避難、初期消火訓練の指導
- ④ 1日女性消防官の開催(3月6日(木))

みなさん、この機会に、身の回りの火の元を点検してください。

※丹羽消防署管内(大口町・扶桑町)では、昨年1年間に11件の火災が発生しました。火災件数は、前年比15件の減少となり、大規模な火災も少なく、焼損面積、損害額とともに大幅な減少となりました。

出火原因の傾向としては、こんろやたき火からの出火が多く、これは全国的な出火原因と同じです。

少しくらいの時間ならその場を離れても大丈夫、といった過信が火災につながります。多くの火災は、ちょっとした注意で防げます。火を使っている時はその場を離れない、後始末は最後までしっかりとするなど火に対する正しい習慣を身につけてください。

火災や救急などの出動件数や行事予定などの情報を、ホームページでお知らせしておりますので、ご覧ください。(http://www.niwakouiki.jp)

住宅火災を防ぎましょう

知っていますか?

火災の大半は、「ついうっかり」や「ちょっとした油断」から発生しています。

火の怖さを十分知っているつもりでも、こんろやストーブ、たばこが原因の火災があいかわらず原因の上位を占めています。

この機会に、「火の用心」をおさらいしましょう。

◆離れる時は必ず消す・・・こんろの火

こんろ使用中に来客、電話などで離れる時は、必ず火を消してください。ほんのちよつとだから大丈夫、が火事を起こしています。こんろ周りにはふきんなど燃えやすいものは置かないでください。

◆正しく使っていますか・・・暖房器具

ストーブは、カーテンなどのそばに置かない。ストーブの近くで洗濯物を乾かすのはやめましょう。おやすみ前、お出掛けの時は火が消えていることを確認してください。給油の際は必ず火を消して。

◆たばこの火種は700℃!・・・後始末はしっかりと

吸い終わったら、火が消えたのを必ず確認する。灰皿に吸殻を溜めない。吸殻をごみ箱に捨てない。寝たばこは絶対にしない。

◆小さな火でも要注意!・・・灯明

その場を離れる時は、ロウソクの火を消すなど火の始末をしてください。安定したロウソク立て、大きめの線香立てで。

◆自分自身の身を守る・・・着衣着火を防ぐ

こんろを使用中に、袖など服に火がつき、やけどを負ったという事例があります。毛足の長いセーターは特に気をつけて。火を使う時は衣類に火がつかないように気をつけてください。

◆万一のために

階段や廊下、部屋の出入口付近は避難に重要な所です。つまずいたりしないよう障害となるものを置かないこと。初期消火に役立つ消火器を準備してはどうですか。

◆住宅用火災警報器について

住宅用火災警報器は、火災の煙を感知し、警報音や音声で知らせるものです。消防法の改正により、すべての住宅に設置が義務づけられました。

既設住宅は、今年の6月1日から始まります。まだ設置されていない方は、5月31日までに設置してください。

住宅火災の多くは、これらの小さな注意の積み重ねで防ぐことができます。

今一度、火の取り扱いを確認してください。